印桐教 電行 副條行 話 斯 対機定本 金音領級 特普羅

百

二頭會議

の宿舎を出發自動車でペルーレム氏と同車ザルツブルーレム氏と同車ザルツブルー

及英運動に對する抗

果は英國自から刈取るの

ことを確信する

「国る自己の行為を反対する。

「政策はその怨恨を如何

「国る自己の行為を反対する。

「政策の二字を動きしたい、英國

「政策の一字を認せんか日本。

「職を是正せしめそのをうである。若し英國にし

「政策の一字を変形においてさへそ

「して虚心坦懐われ等の動告」せばそれは英國が経 変形においてさへそ

「して虚心坦懐われ等の勧告」せばそれは英國が経 変形においてさへそ

「して虚心坦懐われ等の勧告」せばそれは英國が経 変形においてさへそ

「して虚心坦懐われ等の勧告」せばそれは英國が経 変形においてさへそ

「して虚心坦懐われ等の勧告」せばそれは英國が経 変形においてさへそ

「して虚心坦懐われ等の勧告」を改める時である。

「なは過去の甘夢を追及する。

「なる過去の甘夢を追及する。

「なるとである、若し英國にし

「なる事態は必ずや本のを関いるの。

ことを確信する

「なる。」

「なるる。」

「なるる。」

「なるる。」

「なるる。」

「なるる。」

「なるる。」

「なるる。」

「なる。」

「なる。」

「なるる。」

「なるる。」

「なるる。」

「なるる。」

「なるる。」

「なるる。」

「なるる。。

「なるる。。

「なるる。。

「なるるる。。

「なるる。。

「なるる。。
「なるる。。

「なるる。。

「なるる。。
「なるる。。

「なるる。。
「なるる。。

「なるる。。
「なるる。。

「なるる。。
「な

土張を貫徹

然たる決意を明示

江戸川蘭子佐伯秀男

人江たか子

を関通」ヒトラー、リッペン ・ロップ、チアノ獨伊三巨頭 り三人で無い食事を取り午後 り三人で無い食事を取り午後 がの宿舎に歸つた十二日の會 がの宿舎に歸つた十二日の會

さらに續行されん

當つて武藤少將談發表出發に武藤少將談發表

英に失望の抗議 重慶政府談話發表

0

数配してゐる

達することがあるとしても、で續行され何等かの結論に到で、たとへ會談が從來の形式

観き英和界に抑留する旨を 想はない事を仄めかしておける。 きながら、今回かゝる處置 を対ける離登を損失せしか。 を対ける神経を損失せした。 を対ける神経を損失をしておける。 であらうと期待してめが的にとつて であらうと期待してもない。 を関してがら、今回かゝる處置 を対ける神経をしてると を対ける神経をしてるたった。 を対ける神経をしてるたった。 を対ける神経をしてるたった。 を対ける神経をしてるたった。 を対ける神経をは、 を対してるたった。 を対しても、 を対しても、 を対してるたった。 を対しても、 を対しても、 を対してると、 を対してる。 を対してると、 をがし、 をが

通國決人來

少佐遺骸圍んで

荒鷲基地に空の英靈還る

確認

もな

大変を第一次ノモースが、これに対象を 一、カッシの鉄芝 一、カッシの鉄で 一、カッシの鉄芝 一、カッシの鉄芝

特に第一の條

イ、そんなことはこつちには ーギーや汝をいかに

滿鮮對抗競技

业 全有警佐、成林、 全有警佐、成林、

た小谷響佐は順王

の専出

響いら順天

新京観賜病院にて身積檢査を かのうちより二十名を選び入所 でうちより二十名を選び入所 でうちより二十名を選び入所 一個試験に日本内地入三十六 名と共に難闘を突破した唯一 人の講別人李柱選君(奉天) は成積優秀にして入所するも

出設、世界一周の社全につく「東京國通」東日、大毎の世界一周機「ニッポン號」は賭別一周機「ニッポン號」は賭別一周機「ニッポン號」は賭別の単備全くなり、該々廿五日出發、世界一周の社全につく

ニッポン號

0

神能對抗出場の神州軍メンバーは十一日と十二日の三回に 三り左の和く陸聯より競表したが、神様選手不出場なるも 意々たる精鋭を網難してゐる なほ右天會出場の第二班に屬

「FW」教養塗、李萬年、 根來正義、金矢武、朱來順 根來正義、金矢武、朱來順 村突「用B」金基明、吉田 養臣、田村三郎、王壽先、 「FB」李國瑞、洪正德、 「GK」川本久四郎、王國

変現議の洋書 が見る。 変現版の があった「あ であ」、 其の

章 全拉式足球 監督小西悲賢 上將小幡嘉生、△選手「F 主將小幡嘉生、△選手「F 一、高野辰男、高短哉、 一、高野辰男、高短哉、

整尉 小林軍司(宮城 整広 小谷幸文(中央通名 主任) 主任) 生任) 大人中央通名

捜査股を擴充

世来の大部屋制度を四班制に 市首都警察庭司法科では監案 の授金股政組、携充を断行、 の授金股政組、携充を断行、 の現金股政組、携充を断行、 第二二班(智舶班) 第一二班(智舶班) 第一二班(最力班)

第一回飛行機操縱練習生試

交通部で嚴重に

行

第四班を当

第四班(遊動班)第二組(長)傳播佐、選、劉第二組(長)穩佐、選、劉第二組(長)獨吉刑事。第二組(長)獨吉刑事、姜、劉

一個に入り去る十二日までは大橋へて首都警察廳では大橋へて首都警察廳では大

◆中央通道 整佐泉珠一(整視整整 部長) 部長) 変解賞之助(同巡査 では、 また (司)

高井金治郎(同) 市橋殿大郎(同) 市橋殿大郎(同) 佐藤 留三(同) 佐島音六(廣島縣 佐島音六(廣島縣

を 原 大 場 補 ・ 中 野 典 三 第 (同)

無い話ではないが、新京特別市立蟹院は相要らずこのられしない新ではないが、新京特別市でにないが、新京特別市でに長以下州名、看護婦は八十年の長以下州名、看護婦は八十年の一日平均約九百人といふ驚くといる。

内地優秀刑事を迎

刑事警察擴大强化

KI)

神里 の七月分割當一 英人 の七月分割當一 英人 の七月分割當一 英人 この程着 した。ゼが八月も早やなかばは狭して本月分の配給を開始は狭して本月分の配給を開始 を送って配給される七月分の ・ 小麥粉であり實に待ちこがれ たものであつた、配給状態を 見ると吉野區に於ては人口二 萬六千餘名に對しその創富で し一ヶ月一袋と言ふ割合とな し一ヶ月一袋と言ふ割合とな

は豊富に着荷の豫定で七月分 五日より一週間瞬員總動員の「ラウンドに集合、副局長よりでした」 る、然し八月分 段と精神の振興を聞るため十 五日は午前六時に全員溝鐵が十 に頭を懺してる 新京都では現下時局に鑑み一 「規律振輸週間」を催すが、十

十五日から一週間

ばず平常にもこの氣持を念頭 各種の行事を行ふことになつ 大學新聞團

に一抹の光明を齎らしてゐる

一機關を訪問、二十一日吉林訪問、同夜ハルビンに向ひ出發、 の豫定 若き學徒を通じ正しき滿洲國の諸相を宣傳するため滿鏡で 招聘した大學新聞滿洲観察國 を長野澤隆一氏(東天出身)帝大、孫大、早大、慶大、明大、孫大、平大、是大學、農大各新聞代表以十八日午後五時二十分斎あじあで來京十九日、十十日兩日滯在、其間國都各

0

0

は興安省に轉出、中央通署司法主任は東警佐、本庭司法科法主任金箱警佐の後签に路司法科技主任金箱警佐の後签に

に備

患者殺到で

轉手古舞ひ

新京特別市立醫院が

護婦を募集

高正山泰森 六 松單山西金洪榮金三 高單泰金西山正金 六 野直口正洋 九 商服商差洋昌商光 六 岡殿正光洋商洋洋四 行行店號行八店臣店行行纏會堂四號臣號堂行店行行四

新京各郵政局

新京郵政管理局管下各郵政局 中前八時より午後四時迄に改 で前八時より午後四時迄に改 窓口取扱時間改正

電々總裁杯等事献式庭球大會 は十三日午前九時より白山コートに於て擧行、結果次の如 く興銀へ組が優勝した 電々總裁杯庭球

0 0 滿鮮拓龍 電架人組 粗粗部粗

人津氏歸任

あ (十五日)

▲第三個駅米ボスター展 於 「四四道省商工公會 ・ 主なる放送

番號一〇六六號ト運轉手輸入 部教官は十三日静任した の夏季航空大學に出席した を夏季航空大學に出席した がて東上中であつた補州 での夏季航空大學に出席した がなほれていた。 がは、なほ大阪に於 ので、本語大阪に於 ので、本語大阪に於 ので、本語大阪に於 ので、本語大阪に於 ので、本語大阪に於 ので、本語大阪に於

Ŧ

愛軍國行 待券封入にてお送り致します。 サ六日朝日函表にて發表致します。 繁を進呈致します。 の合唱 進 7 先着正解者五〇名樓に十 0 作曲者は H

盜



表より 投査 順 東京市深川區三好町二丁目五 東京市深川區三好町二丁目五 東京市深川區三好町二丁目五 夫を探し 下さ

身體で働けず

合室荒

さんは臨月近い身體で働ける 財頭に迷つてしまふから夫紙 田君を搜して下さいと十四日 中央通署保安保に捜査方願か

着

つて

幸運の人は誰 丹哈 京江爾 金家洋行

二七一八七三九六二二二 八二四九八五四六〇二七 〇五九六二九五三七一七 三五五二一二〇九二四四

四四 四三二 四四二一四 三九二八二二九二七八八八一一 六八三一六六〇四〇五五九九 六三〇八八八九五六一七一五 四〇四七七五一八〇六〇九し

一、女子會計係 一名 一、女子會計係 一名 一、女子會計係 一名 (金間和第一名)第十四 (安間和縣後面會)第十四 (安間和縣後面會)第十四 (安間和縣後面會)第十四

所不定、無職丸山南(二九)で、丸山は十二日午後七時五十分頃一、二等特合室で背優上衣を刳取入質遊興に費消したなと自白したが、同人は敷ヶ月前より課待合室に出入、大月前より課待合室に出入、大月前より課待合室に出入、大場では、無職丸山南(二九) 事務見習員夢集 居書持多庶務課へ本を を書持多庶務課へ本を 要ず

市内に

確實なる身元保證人二名を

Ŋ.

0

大來談相成度 業 聯 合 會

山田が獨特のつかみ壽司

是非御試食を

御存じの關西南地す

金

壽

ト三日午前零時三十分引き ・ 遂に捕はる 所不定、無職丸山甫(二九) 能本販賞北郡佐敷町生れ、住 能本販賞北郡佐敷町生れ、住 正午終了した

日より

-

二十日まで五階の催物

十五



ク寫眞展

部樂俱トオフ京新催生

女子事念 有是著注自選手 內印地婦人入公 第京日本語 牡丹江行鹿人 年齢 二十才より卅五十 旅費支給御希望の方は左記へ 来談下さい 方は左記 リリル

國務總理指定映畵

物も豊富に揃つて居ります 夏の名古屋帶が色々収揃へ

から是非一度御参考までにて有ます。そして夏の御召

御覧下さい

隨し來るべし

立身すべし

高より理像一度

0

髙

秋裕票 東 商品兴 分

新

丁目

京祝町三 電話了二六四四番 御教 用下さい 銀模)

!!本一のこるす臨君に座王々堂

滿映、松竹携提作品 五九郎の許可を

導して行く筈である、五九郎 つてゐるが、この五九童の將 元氣に左の如く語つた **初舞臺を踏んで五九童** エッン があり今春薫製のままれるに一子謎の 角暗れやらぬネオン街ではあってゐるとかるないとかマ鬼ってゐるとかるないとかマ鬼ってゐるとかるないとかマ鬼

り易き注意日

辻の

京

山

の映畵は政府は勿論、

俳優としても銀幕に出演する 様になり送にはチョン髷をつ 様になり送にはチョン髷をつ

虎造大 東賓でもら

Æ

科爾院

本く避くべし 報らるべし 高事企業は凶 食物に注意 (3)電業

前

店内陳列塲に れてあります は最新流行の 作 粹を集めた帶地が陳列さそ 服

箱手玉のトスルオフ・リイヴ伝名 演主・ラユミ・テーナレークツュリブルーオウ・フルドア トンラブギルヒ・デルヒーニーゴーユ・ーニエジ 女の人五なから期にれずは氣陽てれ亂り入くしるぐまめ も密秘の懸のたなあしとどめひの戀の巴じんまが男女男 すまり嵌て當いまのそりくつそ 作秀のデエエフクツヤジ匠名 たれらげ投に上のトツレール 演主エゼロ●ズーワリンラフ 残収。と命選の個人いしびだ 劇器の却水の子と母に口き









サロトは

一舉上映

座

曉の前進」

二部

虎狼篇

スされ、今秋封切される事に とれは國光映畵社によつで輸 これは國光映畵社によつで輸 「「て舞きのたイ 夢三る豪ー後のブ 見文ただと世がセ

ルナア・クラウスと共に ロムビ

閉め許や

が財長で変した。

本郷見信子

今秋引退か 我廼家五九郎

オルスター

ラ

ク

3

豪

y

ひの

h

に

音樂に

氣に

笠

色演

吉村公三郎

川守

野塚

秋君

政府並に特殊

監察制正

欧の前途

の八百六十二に加ふればその綜合戰果は實に八百八十四機といぶ戰史上替で見ざる數字を示してゐる。本期間の戰鬪狀況に關し、無敵空軍また勇敢に敵機を邀擊して擊墜せる敵機ず三、高射砲隊の擊擊せるもの九機を加へ本期間の擊擊敵機の合計二十二、これを刺殺潰滅し或は砲兵陣地攻擊等によつて多大の損害を興へさしる執拗なる敵軍も手も足も出ざる有線にて徒らに死傷者を滑すの

もの九機を加へ本期間の撃墜敵機の合計二十二、これ

犯戰

反對意見

國民黨元老が連名で

り國民黨最元老の全般 「國民黨最近之 「國民黨最近 「政公権、許世英等と 「政公権、許世英等と 「政公権、許世英等と 「政公権、許世英等と

請されてあるが、これを担否 辞照より類りに重慶入りを懇

碌にて徒らに死傷者を認めない。

なる變化など

十四日早朝現地軍 大名談における 大名談における 大名談における 大名談における 大名談における 大名談における

対しわが方としては何 対しわが方としては何 を加藤公使のもとまで 来でたのに對し、北支 来でたのに對し、北支

本 単代表を日英會談出席のため 事度東京に派遣することに関 を窓の間會談にもある通り兵馬 を窓の間會談にもある通り兵馬



44 【頁二十刊夕朝紙本】

2 〇三曜 介勇忠 〇五社

はの形式を避げ加藤、 でしめ蔵々本極りの設 の形式を避げ加藤、 でしてはその性質上 についてはその性質上 についてはその性質上

地軍代表の再上京を求めると いふに意見の一致を見、午後 七月卅一日第六大國皇會議開 信以來停頓を續けてゐた日英 會議を聞きその際日本側は現階に達した場合。改めて興卓

見込がたち前途打解の曙光が一會談もこと南三日中に再開の 福岡に一泊一 行

2

防空設備に関する規定に基き本件に関しては都邑計畫法建築無則第二十條の規定に基き本年七月十七日首都警察廳令第四號を以て公布せる都邑計畫法建築無則第六十條乃至第七十條中に建築物に對する訪問、大力を設備に関する規定を設け、 ゴッコニ

タベル な夢甘い撃 -





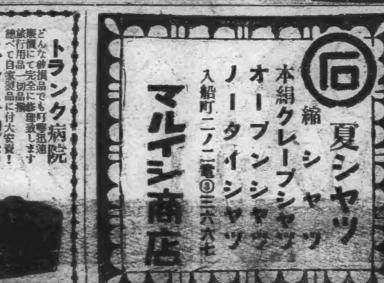
夏田鍼(

の見解を持し英國側の出標 一事をもつて會談の圓滿なる 成立を期待することは出來ロ 関連を持てなる。

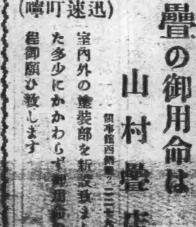
文の記書 いうか見

應過機

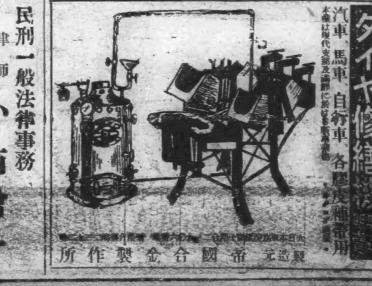
最近の世界情勢を







民刑 韓律 世 世 一般 注



思ふ、日本側でもこの點を において申入れ得ることと をあることは特に本使の責任

育祭科長、蓬棠部島谷安周瀾崎參事官、沿麥部三宅 安周瀾崎參事官、外務

限りを見かられている。

在間と更ら何福の並にも を更ら人めの要にられ もてれ、もて實家北れ

一部幹事會

田川助教授、大同學院森山一及通部照井調查科長、建大交通部照井調查科長、建大交通部照井調查科長、建大

件(熱河)(決定一部解決)

▲中澤英三氏(住友社員)十四日來京大都ホテル
・古川武男氏(満洲工廠)同
・本田歌田氏(満洲工廠)同
・本・一樹氏(奉大造兵廠)同

はなごとは恐らく空前絶後で あらう▼四面海を以つて国ま か不可能な運命的立場を基礎 としたものでなければならな としたものでなければならな

で のと認めざる にして本交渉成 が表して で のと認めざる

によっては各機関の経費によっては各機関の経験のであり、能会をはなって、 をした監察官職の経費によって、 をのであり、能会を をのであり、能会を をのであり、能会を をのであり、能会を をのであり、能会を をのであり、能会を をので、 をというで、 をいうで、 をいるで、 をいるで、

1と共に政府人方を提出

の戦線

(1) 陸

か、正式に酸よ解表を拠して め、かねて酵童を拠して め、かねて酵童を拠して

その限りに於て大いに方法を 「施子文である▼かつての日 道院外交である▼かつての日 道院外交である▼かつての日

を棄てゝ露と結ばんとする。 除曲折があつた。日本では本 には日英双方に於て艭多の汗

院長 医学博士 医学博士 東門医学士 博士 小橋(受好) 髙川











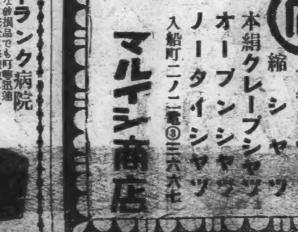












(-)

完全に

非公式聲明發表さる

一殿州新秩序樹立共同對策を

總統、チ外相會談終る 的諒解に 到達

伊爾互頭は右間題を織る英、 *、佛ならびに東南歐諸國のの動を決した際の各國の向背につき、隔意なき意見の交換にで、開意なき意見の交換を選げたが持に日本の態度に

獨伊兩國の見解

終了後、當局より今次の討議 により獨伊兩國の見解はあら ゆる問題について完全に一致 してるることが明らかとなつ たと左の如き非正式應明が設 たと右の如き非正式應明が設 たが會談

金々強化せしめ、今やドイタの面目問題となったばかりか、ボーランド在住のドウか、ボーランド在住のドウか、ボーランド在住のドウルは、外側が行はれてある首には未解決の問題にあらの電話が行はれてある首には未解決の問題が存在して、今天の電話が行ばれてある首に、今天の電話が行ばれてある首になり、外側がには今天會談に不必要にない、外側がには今天會談に不必要にない。今中ドイントの表示である。所言すれば、その結果場伊阿爾伊国知法を持て、今中には、その結果場伊阿斯となった。 一方のであるが、今中ドイントの決合がであるが、の情報がある。再言すればからうと諸種の方面が表示。 一方のであるが、今中ドイントの決合が表示である。 一方のであるが、一つにはかり、今中ドイントの表示を表示であるが、一つにあるが、一つにあるが、一つにあるが、一つにある。 一方のであるが、一つには、一方の流流には、今中ドイントの決合の音が表示。 決利のの質ばなれ切ごう首と流會で聞これる會などかイ テクラン燃ッ最通っ しルニし提っ

燃しつ」ある。 燃しつ」ある。 ンプンド領から

に對する

象の信頼は猛烈に易りつ

佐顧免官 然務廳事務官

初代駐西伊大使

經濟部理事官

トーウェン

同地方の青年を打つて一丸 近く結成さ 後 機 後 應 任 維 務 服 多 亦 官

佐顧免官 (八月九日附) 治安部事務官兼指紋管理局

經濟部參事官兼經濟部事務 補大便官房辦事 (紅經濟部參事官教際任三等 任經濟部理事官放應任二等 山田 春雄

見る運びである。

歯獲品 = 重機 一、軽機二、自十一、捕虜五十六、内將校四十一、捕虜五十六、内將校四

を記し

●大連株式市及 新華家 150 415 180 大河東 180 大河東

上數·疊床

烈京研町三丁目十八番地 兄玉疊商店

八月末日迄額面用

マオニジニ指

蔣の民衆へ

一般民衆の無關心は更においる無關心振りを示めてみ

一三記念日を期し

齊檢索を實施

甲支占領全域を肅正

方地區の徹底的謝清を目指し より閉出せ英國 工部線は十日夕刻上社村(韓 掲げて奮然起つ 無額四爾一キョ)において三 英民衆大會は十 無額四爾一キョ)において三 英民衆大會は十 本語線と協力の下に三百の敵 において華々し

は十二日より天津 しとの注意を萬一の場合に備起つた全國華人反 惟中は一切の業務を停止すべ 本系全商制に對し反英大會保養側」「東庭 をなした英祖界富局では租界日酸國通」「東庭 をなした英祖界富局では租界日酸國通」「東直 をなした英祖界富局では租界日酸國通」「東直 をなした英祖界富局では租界日酸國通」「東京

經濟部平務官 經濟部平務官

經濟部羅事官

全満洲庭球軍の

日本遠征に臨み

監督

も甚し

河南省公署談

民心、抗戰より和平へ急轉換

【太原十三日酸園通】 敗職に 職ぐ蔣介石の夏期攻勢命令を 地區ならびに北方地區に來理 地區ならびに北方地區に來理 地區ならびに北方地區に來理 地區ならびに北方地区に來理 で表示憲吉麾下第十九軍の三 正日より十日にかけてその都 の入日間における職果左の如

租界

外の英商社

呂業を停止す

攻勢の敗敵潰亂弾薬多数。

一ランド及びトル り、この間に別する保障 たから、英ツ変渉 を製しいふ大型 での小園を加算する保障 でのい園で別事での侵略 である直接の侵略 であるである保障 一般に對し殆んど影響を異へなかつたことは第に對する上海民衆の信賴感が最近頓に低落しつ」ある證左として極めて注目されてゐる、即ち蔣介石が八・一三記念日に獲りして呼時に上海民衆を對象として呼

(南京十四日発調通1 中支軍 や 表道部十四日午前九時競夷中 と 支占領地域におけるわが態兵 はかねてより八月十三日即ち で はかねてより八月十三日即ち で かん・ 一三記念日にあたり敵軍 中

電 分子、便衣除、遊擊隊を一綱 電 中支占據全地域にわ た、また隊匿兵器、軍需品等 中 るため、中支占據全地域にわ た、また隊匿兵器、軍需品等 中 中支占據地域に潜入せる抗日 軍 中支占據地域に潜入せる抗日

した室谷。岩房園部験は相呼 連絡をとりつる北方に近週し の如し (太原十三日發園通) 過般者 應じて猛撃の火蓋を切り室谷 帯の峻嶮に據れる敵鹿を駆呼 であ) 政策中なるが逸早くこれを探知 東方より室谷部隊と書談なる 版は十日澤州南方サキュ天井 でか 策中なるが逸早くこれを探知 東方より室谷部隊と書談なる 版は十日澤州南方サキュ天井 でか 策中なるが逸早くこれを探知 東方より室谷部隊と書談なる 版は十日澤州南方サキュ天井 渡れて び兵力を集結して澤州西方地 低設陣地によれる優勢なる敵 隊は十日澤州南方サキュ天井 渡れて び兵力を集結して澤州西方地 低設陣地によれる優勢なる敵 隊は十日澤州南方サキュ天井 渡れて じた室谷。岩房園部隊は相呼 連絡をとりつる北方に近週し の如し

を婚み出したわけである て日本政府に 無保鎖炭鰈(英支合辦) 順末を聴取す 南省公警は現地炭鉱線代 實に示す一歩 南省公警は現地炭鉱線代 實に示す一歩 理権の認護問題に開し曇 における英國 における英國 関地である」 原地である」 **藤門題** 焦作鎭炭

れた、四分間の長いでは、 をき前上等兵の施門が快哉を たたが、では、 をはわれる砲撃に振き戦か、 をはかれる砲撃に振き戦か、 をはかれる砲撃に振き戦か、 をはかれる砲撃に振き戦か、 を大しいる撃を後にことも がばとたり倒れた。 がいる地撃を後にことが、 がいをいる撃を後にことが、 ががはとなる ががなる中し ががなる中し ががなる中し ががなるががなる。 であれた。 であれた。 であれた。 であれた。 であれた。 であれた。 でいる撃を後にことが、 でのれた。 での中し での中し でのかずに、 での中し での中し での中し でのかずに、 でのかずに、 でのからの中し でのかが、 でのからか。 でのからか。 でのからか。 でのからか。 でのからか。 でのからか。 でのかられた。 でのからか。 でのからが、 でのからか。 でのからか。 でのからか。 でのからか。 でのからか。 でのからか。 でのからか。 でのからが、 でのからか。 でのからか。 でのからか。 でのからか。 でのからか。 でのからか。 でのからか。 でのからが、 でのからか。 でのからか。 でのからか。 でのからか。 でのからか。 でのからか。 でのからか。 でのからからが、 でのからからが、 でのからが、 でのがらが、 でのがらが、 でのが、 でのがらが、 でのがらが、 でのがらが、 でのがらが、 でのがらが、 でのがらが、 でのがらが、 でのが、 でのがらが、 でのがら

と破壊した、然して右焦作績があらう

図共對立益す激化

蔣、調和策實施に躍起

【バルシャガルにて十四日發展を編はれた前職上等兵(東) 大脈、今次ノモンハン事件勃に本の健の 変するや勇職出征イリンギン ない。 ではない。 ではなない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。

名譽の職死を設けたが、前君 いとし手としてるた母類の心 持を吐露するとともに関に 持を吐露するとともに関に 持を吐露するとともに関に を する軍閥の母の無持ちを有り のまと筆に托してどのやう する外膜ツ郷機を選げたかを知らうと する外膜ツ郷機を選びバルシ する外膜ツ郷機を第えて敢然 けられた母性さん(東京市大

事務の委任に依り新に 出社ちれ現在に於て 歌組せられ現在に於て で、満洲獺業開發株式會

時間を一分でも粗末にしてい 草の銀紙及び各使用になるも の 4 消費節約を高調するの 時間を一分でも粗末にしてい 種

ていた」と言つたら、「ちよつとの時 〇〇會社より集金に参りましるも ○〇特殊會社に集金に参りましるも ○○特殊會社に集金に参りまし

金班縣積投

待つて長れ忙しいから」と云いた。そこで、「支拂傳票がまだ廻つ。こで、「支拂傳票がまだ廻つ。こで、「支拂傳票がまだ廻つ。」と聞いたら「バカヤロウ、集金生のくせになにを騒ぐのだ、後一時間でおいて居れ」と言いまだ廻ったら、「それでは明日お伺します」と言ったら、「一寸待て直ぐ

正

協

和

本法へ公布ク

地下,開作 四運動の全國的展

孫ザニハ帝族 弘

横別帝國城和會は唯一永久、 ・ 関民動員を完成し ・ 関民動員を完成し ・ 関民動員を完成し ・ 関民動員を完成し ・ 関民動員を完成し

報宣

ペく十四日午前十一時より弘 會中央本部では最も効果的旦 の質をあぐ では最も効果的旦

道義世界の創建を期す

一、宣標達情を徹底し一、足族協和を實現し

果間一我の實験組織能

署臣ム休ナト

面を 部で協議 檢討

鑛業權特許 鑛權設簡易化

幹事會に

政府の報告

の部は後来の 強定であるが新波の部の管 準定であるが新波の部の管 を受けるもので株主 を受けるもので株主 がより獨すせるもので株主 がより獨すせるもので株主 がより獨すせるもので株主 がより獨すせるもので株主

本年度全聯へ 提出議案

胸建設は今後全國的運動として强化展開せしむるの要あり 整 法 本部の指導下に分會、青少 年圏、義勇奉公士、國騎等 を通じ宣傳の完整を捌する こと

探鑛奉國運動の 全國的展開を提唱

一、建國廟建設全國的運動度 「禅川縣依崎縣各分會提 「案) 一、金公定價格引上に闘する 件

所、高級業権 現在書級権として取扱へる を存着類所によりの表表を有力を を表示の主義を を表示の を

集結の集點なり、從つて建結の集點なり、從つて建制別建國に殆ぜる英盤反の結構別建國に殆ぜる英盤を表 國神祀

忠者雲集すた時朝曜を開始昨日同様にて

うよう金を出して現れた、客 つて居つてもまだ異れない、 つて居つてもまだ異れない、 など知らない時間節約や

到は一合の大車に満載 作地小河沿子に向っ 製造卸問屋

農村地區巡

廻工

第三信)=



せる





です、目からめやにが出たり の動神經確準は感冒の個解極 が、米のとぎ汁のやらな便 の数の腹痛などが條件でなほ のなどが條件でなほ のでなる様なせき

にも関係を有し、また、和西班牙軍艦建造や艤装の會

したがはない

よい、これはさをう たものをあたへるや にものをあたへるや な事の食慾に関してこどもの になるべく控へるやう を養を害するからです とういふも

夏は特に必要

のやうなものが適當で、これ 敗に傾いてゐたといふことが しこれも季節によつて加減す そのうちでも危險なのは僧の る必要があります、ことに暑 はいつたものや、タリームのでよほど注意しないとこ の多いものなどでこれ等は夏 にいのでよほど注意しないとこ の多いものなどでこれ等は夏 にどもの身體をこはすことにな おやつとしてあまり適當なも ままります、それにこどもはおや のとはいへません

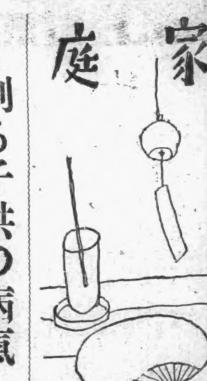
のはダイタミンを与くへのはダイタミンを与くへのはダイタミンを与くへがまたので充分にあたの

か急性不痢、デフテリア、疫したときは顔面神経麻痺だと

界的に優秀さを認めら

の市民防空訓練

獨逸婦人が



sei

員を擁し、中百五十名は直接協會であらら。この協會は一

加してゐる。

知つておくご便利 の病氣

兵器製造を擔當する業者で言 は大きい。その最有力者であるシュナイダー・クリューダーは一九二〇年資本金一億四 一は一九二〇年資本金一億四 一は一九二〇年資本金一億四 一は一九二〇年資本金一億四 一は一九二〇年資本金一億四 一度である。そのうち最も重 配してゐる。そのうち最も重 配してゐる。そのうち最も重 で、チェッコスロバ 等なものは。チェッコスロバ 等なものは。チェッコスロバ 等なものは。チェッコスロバ 等なものは。チェッコスロバ 等なものは。チェッコスロバ で、チェッコスロバ

兵器制造智祉としてはベスレーを見ない巨大なものである。

知識 を持ち合せてる 福平になる。 な目を見ないばかりか病氣を す、口を閉ってなる。 おばんやりが病気を 音が生、

とです。まつ置りではならぬこれ得さんの心得ねばならぬこれである。 害を考べます、これには愛育った時には榮養および神經障とです、まづ運動がにぶくな り、鼻の形でれには餌つき

猩紅熱、麻疹、中毒などを臓炎、榮養障害、温疹の初

に は 脳膜炎、 腹膜炎、 デフテリ で ます 睡眠するのに目を まい で な 泣きをしたりする時は お 腹に 順虫が出来たか、 脳疾 お 腹に 順虫が出来たか、 関疾 お しっ で さたがをまづ考へます、 しかしこのどれでもなく神経質 全様ないます。 生物腹膜炎かを考べます。 尿が少なくなつたり又は尿をすが少なくなつたり又は尿をす。 なのなりなりなったりの色が茶 から云ふ光候は

カ します茶、コーヒーは石鹼水 分解し、落ちにくいものはなか翻砂液で洗ひ布地の白いも ンデンソープを用ひておとします 本文はアルコールで色素を落といて、これで酸分をとり温といて、これで酸分をとり温 味噌、醤油は、温石鹼水や

前防を浸出し、温石鹼水・白紛垢と袷垢は、揮發

三日三晩歩き

とれます、乳は冷い

七十四歳の老人が三日三晩少 ヤールス・ハートと云ふ當年 ついけた 老人

をなります。腹ばひに廃たり をなります。腹ばひに廃たり をなります。腹ばひに廃たり がに寄生虫が出来たか脳膜炎 か脳水臓を考へます。これに は最熱安眠しない、運動不活 できまするといよことが條件

外れて遅いといふこと、

英木國にブロックを成す、ガ

題話の時

國境を越えた連携の

爭の黑幕

こ 夏着を職ふ

×××× は、酒石酸をグンスを含むいたらすぐとなさらないと動いたらすぐとなさらないと動いたらすぐとなさらないと動いたらすぐとなさらないと動いたらすぐとなさらないと動いたらすぐなります

死滅を計

を対虫を生みつけ、又それを ためて生活する人音の排泄物 や対虫を生みつけ、又それを を強品の残り滓などには、乾 が乗したものであれば石灰を撒 が上するとか、 であれば石灰を撒 ・・此の液で蠅を残

長崎拔天 る蝿の撲滅 る蝿の撲滅

million in

コュニチ

たち信用のある、よく変れるところで買ふ、近頃セロファンはに包んだお菓子がありまして大甕衛生的のやうであるが見はこのためかへつて腐りやすく内容にカビが生えたり腐ったりしてあるものがありましてあるものがありまったりしてあるものはよくから包んであるものはよくから買ふ必慮

があります、なほおやつの時 時午後三時の二回、それより 等午後三時の二回、それより





泰田等

御熱染

5,

E

9

丙室完備

新京ダイヤ街走松町













三六年末には戦工十萬人に上 した。その他ティッセン工場 場が瑞西にあるボフォールに ある。米國はデュ・ボンが二 十二州に亘つて六十六工場を オンボールに 閉鎖の厄に合つた。然し一たが、ベルサイユ條約の結

らう、オレゴン 34年にしたいと考へる男も可成り多かたいと考へる男も可成り多かたいと考へる男も可成り多か 泥醉の豫防法

六、二〇〇〇

大連)中等減洲語

たものであると云はれるがら此の大旅行を完成せしめ

者や家族や親類等が心配額を云ふものは老人のこととて関

0

態じて醉はずに酒を飲む法を ちら、オレゴン蟹科大學教授 リンパート・マシヴイル博士 六、五五

ので人気を博して の驚くべき競見の種が手 **状態に陷らせたが、結局をコールを充分に飲ませ、皆まは一匹の犬にアれば、博士は一匹の犬にアシヴイル博士の賞齢報告に**

吹奏樂・

東京無線

夏の戦(イン)石川

へ、二五 (新京) 幼兒の時間 九、〇五 (東京) 經濟市況 九、〇五 (東京) 經濟市況 一〇、〇〇(大・新)經濟市況 一〇、〇〇(大・新)経濟市況

清髙

酒級

瀟

新京櫻屋商

番組 十五日(火曜日)

ルメー作曲 ラウス作曲

分工場

振替口座新

٥

古きを賣って 新智識を

人院隨意

電話

3

五六六番

がかほんとだったら、 がないならといっか思っ

位は 1. 1. い向日葵は吹かぬかしら向葵

さんごじゆの花が咲

たひと

もかし友よ それがどれだけの生命を真紅 の血液を太陽を 教々の胸に注いで來たであら うか

喜が まないやうに前つて止まない それよりも我々はこの大海の 売波をいかにしてくひとめ いかにしてのりこえいかにし てしづめるかといふことを考 てしづめるかといふことを考 へやうではないか この生きる日の現實は余りに みにくいものである 美しい少女の屋に宿つてゐる

ガイ

吹いてゐると

表は大概の整備のやうに押し をはない君の情報を 担つてくる優麗も とい君の情報を

友よ君はそれを思いならない 我々は行くだらうま

ルのラッパを吹くだい夢を描きながら

なだらちゃう それは側散だ とだらちゃう

るやうな壁で迫つて

は夢はなかつ

際のやうど

追憶の類はふるへでも でなに吹いてゐる でなに吹いてゐる でなに吹いてゐる

いものか

きみちゃんはどこへいつたろ ふさちゃんはどこへいつたろ さえちんはどこへいつたろ さんちんはどこへいつたろ あの来が青くなつたら あの森が青くなつたら

ものひとが サンりなくとき 対の烈しい意欲と火のやうな 情熱に

為政者を否定して

海邊哀唱

75

小さながるよ

野明なる友よ をあった であった であった 世を見

なよ君の烈しい生きる日の歌 たどのこつであるものはみに くい現實があるだけだ くい現實があるだけだ

西谷正夫

お前が何處へ流浪して行こ

成ひは天國へ流浪して行こうと

現形記』にこんな話がある。

その老父母の前で

(計 暗 火)

郷、深く鑑湖を嵌めた故郷龍山横队せる故郷!

新任したがまだ一向仕事の 事は判らずにゐる。ただ有力 をもに登院して制台に會ひ、 それから何々局といふ所に出 かける、そこには部下がるて をもに登院して制台に會ひ、

山陰道上続得んと映

思ひ出し、こ

り、公事は停富する 「使太の所にやつる でもまた然り、部室 てから、晝間の事を

てやつて来た、蚤文を差出すったがて小二爺は受付をつれたがで小二爺は受付をつれ

王義之の難池を残せ

放郷、越王台高く響ゆる故 建く雲山を隔てた故郷!

唐二歳子といふい」加減な でやつと或る地方の役人にな である。

我のようで、 大りの変、十二次などを強動してくれと 和台のボーイなのである。 一つ好い役を運動してくれと 和台のボーイなのである。 そこで小二爺といふ男に何とか そこで小二爺といふのは 大りの変、十二次なと相談し 全部で二萬五千種掛せ、銀元 居の機嫌にしてやると動める をんな教入があるのか到らぬ でれに小二爺のこの吹きかけい それに小二爺のこの吹きかけい それに小二爺のこの吹きかけい それに小二爺のこの吹きかけい それに小二爺のこの吹きかけい それに小二爺のこの吹きかけい それに小二なのである。 に関つて人に聞いてみるとには とんな教入があるのか到らぬ にしているるとには にしている。 にしている

のでせう、私が催促して参り 「どうしてまだ持つて来ない」

いと言つ

そんな道理があるもん と仕事をやらぬと言つ たのに、まだ持つて来 の時に原稿を持つて来

文も母も私に家に煽つて年越 しをするやらにと言つてみる しをするやらにと言つてゐる しをするやらにと言つてゐる いと言つて罵つた、しかし本 當は私も泣きたくはなかつた 私は鴨腿が欲しい。しかし 私は鴨腿が欲しい。しかし ななりにと言つて無に買ひに

なのだ。でなければ私が馬鹿だつた。男子一般はみな平凡だつた。男子一般はみな平凡

「ババ」は狂鷗社の高長虹と を立ち、私は「ババ」とW社へ行った。 文前京へ行つた。 文前京へ行つた。 文前京へ行つた。 文前京へ行つた。 を私は「ババ」とW社へ行った。 をおれた。 参加工業門を推した、 を対れた。 を対した、 もいわからなかつた、私は彼を かわからなかつた。 私はその時一寸誰の響なの のた、しかし、私には特別の がらながら、見ると彼だ のた、しかし、私には特別の ある、私は恨む、いや悲しくとではなかつたか? 今その補花の姿が私の前に を思ひ出す 、この一朶は私が…… 出すーーこの一朶を忘 の一朶を忘 冒館で遊んだ時のこれは去年私達が杭州

およ!恨みとか、悲しみとも一も一人の男でしかなかつた。 も一人の男でしかなかつた、 を一人の男でしかなかつた、 を一人の男でしかなかつた。 を一人の男でしかなかった。 私の限の下にあるのに。 私の限の下にあるのに。 ならぬ。

おは月が霞んだ地の一角か 私は月が霞んだ地の一角か

ガり、沈む、これに

ではないからなれば私達人は

とかやつて貫ひたいと金を小二 第に渡し頼み込む。ところで、制台自身は幕僚の仲介で 道台胡某と取引を清ませた時で、今日にでも勝済ませた時で、今日にでも勝った間いた小二爺は慌て、係りの者に勝令を暫く持つて來るなと命じた。ひどい勢ひでない。色々話し合つたが、それから十二帳太の所に行つて何とか策を講ぜねばならんと相とか策を講ぜねばならんと相とか策を講ぜねばならんと相いがく斯くと策を定めた。そして今夜旦那が来てから、自分

早く金を持つて来ればいふと 思つてゐる、そして幕僚に催 促する、事僚は係りの者に催 促する、すると明日原稿を送 りそれから辭令を出すといふ 何度も催促したが、日が暮れ でも居れず、そればかり考へ ても居れず、そればかり考へ でも居れず、そればかり考へ をになり、公事は停當する この二ヶ月ばかり、湍瀾台は いつも十二棟太の所にやつる 来る、今夜もまた然り、部室 合園をするからそれに 合園をするからそれに で類るいゝ氣持である で類るいゝ氣持である を持つて來ればいゝと ある、そして幕僚に催 ある、そして幕僚に催

東月東日、新京に於いて若い洋書をやる人達の食合に くのはいやだが感じたまみを書いて優きたいと思ふ。 この若い養家だちの數人が今度の獨展を中心に色々な の問題に奔り勝ちであることが第一に痛感された。そしてそれは被等が實に思想といふものを特つてあないのに であることが第一に痛感された。そしてそれは被等が實に思想といふものを特つてあないのに 思想無き藝術家、これは最も裏れな整備家であらっ。 として言べばさら批判せずにはおかれないのである。。 として言べばさら批判せずにはおかれないのであるいのに 原因しても思想の資品が、諸君の当日の誤論だけを材料 として言べばさら批判せずにはおかれないのである。。 として言べばさら批判せずにはおかれないのである。。 として言べばさら批判せずにはおかれないのである。。 今度の関膜も一と通り見たが、こゝにも「思想の缺如 か満いても思想の資品」とであるではないか。納の分野に於 が情いても思想の資品」といいである。。 今度の関膜も一と通り見たが、こゝにも「思想の缺如 として高いる。 今度の関膜も一と通り見たが、こゝにも「思想の缺如 にもみじめに露呈されてゐるではないか。納の分野に於 がる済州藝術の範疇性は特に著しいやうである。 (多々羅道弘)



同現代人口統計(地域六一個財産的、新事多くを盛る(の記事多くを盛る(の記事をとを感る(の記事をとの主義) はない集められてゐる。ことには歌若干を抄して置くことにをのぼらむ君がため 内に願ら日に願ら門えしみがげなりしまみえむと待ちなどもしまみなるとと待ちなどものに過ぎ

燃料國策研究會)

家の群れ 思想無き

我々は太陽を追ひつめてゆく 我々は喘いでゐる 我々の生きる歌喜は空しく太 親のまへに溶けるであらう 我々の現實に對する觀念は余 りに卑怯なものではなかつた あよ割はこんなことを考へて みたことがあるだらうか なんのイメージに生きてゐた で来るなんて!」 で来るなんて!」 満制合はそれを見、受付を属 電回回 天 ないことを ジによつて生か

見でゐる。

是から多い たゞれ濕疹 慢性皮膚病 んの

泣きわめいた 方 ちゃんも

產婦人科

化柳病科

2

ごん御仕立所

年はが辞 頑固 攻 8 て

逸

ン市

北支



下海出張所 北京出張所 店 上海出張所

代表電話長③三八

無順出張所 奉天支店 撫順市東三塘通一四 鞍山市北四溪町一

新京支

新京特別市八島通四二

爾斯市地區與查園





入院の設備あり



京 崇

特製品カステ

パカデ



上向位体

壯强血補



工具、地金

輸出入商

山陽



科鼠

軍 條 用 品 卸 大連市三河町二十九番地 大連市三河町二十九番地 高 木 地

振動 書 本 馬 書 堂 四三〇六 海 () 電話②五七〇二番 川売商 () 井子・「 電話②五七〇二番

一合七銭 電話②ニハ五七十十六十銭 電話②ニハ五七

の時局下

合 (開設試合出場者に限2 (ロ) 一校より一組出場するものとす三、出場選出費 6のとす三、出場選出費 6のとす三、出場選出費 6、選出五名、補款

に出場するものとす でれる全議中等學校角道 でれる全議中等學校角道 に出場するものとす

の意義重大

餘参加選手へ注意

開催されるが、要項は大の如 見玉公園陸上義技場において 見玉公園陸上義技場において 別まな、 の知りでするが、要項は大の如

権豫選要項

B

常務、岩田支配人はじめ在京 常務、岩田支配人はじめること」なり 株統制實施に関する第一回打 株統制實施に関する第一回打 を計画を開催その大脚を決定し たが、さらに細目協定のため に関する第一回打 体型

服地生産者、洋服副製者及び 配給者等业餘名多集第二回打 合會を開催價重協議の上同四 時間會した、なは最後的決定 に經濟部の審議を俟つて後決 定され避くも九月中旬ごろ實 した主要點を舉げると次の通

聞

暑さにボ

輸送激増に備

■多菜で を表する で共の で

満鐵タイヤ

一月から實施豫定

列車の全国

その實績をあげつゝある新京 本格的に活動を開始したが石 本格的に活動を開始したが石 を確約の横の機関として費々

注意落すな、 忘れるな

(日曜火)

り忘れ先日も野菜ニーヤの車 別のでは吹町二丁目四山吹並内 担勢力さんは十三日午後五時 現金三百六十個を落したか、 現金三百六十個を落したか、 現金三百六十個を落したか、 地金を持つてゐるのに はなって中央通響に となって中央通響に となっために大

農村地區長會議 十四日午前十時より市公署會 議室において開催、永戸行政 處長。 范行政科長外三十餘名

石崎理事決定

三時散會では、一、早災被を重ね、一、早災被を重ね、一、早災被を重ねる件、一、基準を重ねる件、一、流流を重ねる。

協和會服價格統制

表る十二日の日端率監督會議 において決定した分は十四日 において決定した分は十四日 、選手集結は八月廿九日午 選手代表を子希滑へ陸上

自丁一町枝ヶ梅

19

四番

を以て玆に移轉致し候條舊に倍し御厚情御引立を賜り度奉懇願就而今般左記新營業所へ本業に適合する黒逾り土藏式家屋を建業務隆盛を見るに至り深く感謝教し居る次第に候昭和七年春開業以來七ケ年有餘常に皆樣の御聲援御指導を賜り

莱所東二條通二十五番地





部臨時列車の母酸



大千九百萬キャトンに上つて れてるるが、これに伴ふずイヤの縄成は昨年達の四千五百 されたものであり、到底これ に動臨しきれない状態にある ので今回のダイヤ改正は本年 度輸送策定量六千五百萬キャ

横濱屋移轉

廣告

.

黄店





一回歐米 H 八月十四日 13 三日間午前九時一午後四時 工公 會



到 (見所街廳官ふのき) 例年今月の廿日頃からは大連 地路還者殺到で相常温雅を来 すのが例なので、商船々客係 すのが例なので、商船々客係 では廿日頃から月末へ掛けて の内地向け旅行者は成るべく 早日に乗船券を購入するよう 希望して居り殊に北支からの 旅客は大速に到着しても船が がはからので、商船々客係 H

推すことに決定した、同氏の 傷一致石崎廣治郷氏(商工公 常務理事三浦一氏が推擧され 出席不可能の場合は商工公會 【宮眞は石崎氏】

土產品

懸

賞募集

月中旬迄に實施

きのふ第一

一回打合せ

一、低製服調製業者の枚受する ある。 、低製服の指定版資業者の 販賣價格は生活必需品會社 のでは各地の を受けた額に二割 とす、但 とす、但 一盟を加算す での版資債格は生活 の版資債格は生活 操金會社と提携

販賣について

二萬數千名の現業員を擁する 清別採金會社では今回生活必 所定し、その和目打合せのた 品全部の配給を受けることに 正現業用具をはじめ日常必需 証共同後援によつて「新京土 産物品評會」を開催すること 産物品評會」を開催すること 産物品評會」を開催すること 産物品評會」を開催すること

甲込所に在り、に所 をして、 の、 できたなし、 できたなし、 できたなし、 できたなし、 できたなし、 できた。 できたた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できたた。 できた。 できたた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できたた。 できたた。 できたた。 できた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できた。 でき

の接管會を十月八日より同品評會入選設表とよるに作

西安炭礦見學

用する希望者來社有たし詮例の上直に採臨時筆耕生急募

れた南曽日追て通知す

観光協會主催の。品評會《出品

カ州日限り締切

長春 街兇漢?

男子・お笠の内地人

取調中脫走

・ で整へた黒河方面への物査の 方に登機「衛 第あり、必需品會社としても 」と仲居を信 第中を行つて貰ひたいとの希 屬官だ、金は 集中を行つて貰ひたいとの希 屬官だ、金は 「衛

型六日市内日本橋 窓は明日役所で拂ふ 窓は明日役所で拂ふ

報金會社としては特に粉束の 変性な多分に持つ金山鐵等 を控へた黒河方面への物査の ないとの希

偽屬官

捕る

将來各特殊會社と必 四緒を密接ならしめ 回路を密接ならしめ 回路を密接ならしめ

採金會証側から順均常務、 長、矢野、百江、村手氏等 長、矢野、百江、村手氏等 長、矢野、百江、村手氏等 長、矢野、百江、村手氏等 長、矢野、百江、村手氏等 長、矢野、百江、村手氏等 京社の企業が展り、原田太料 京本台計各課長、原田太料 京本台計名課長、原田太料 京本台計名課長、原田太料 京本台計名課長、原田太料 京本台計名課長、原田太料 京本台計名課長、原田太料 京本台計名課長、原田太料 京本台計名課長、原田太料 京本台計名課長、原田太料

方使節十六

乗船券は成可く早ん

ら混雑

定大

期連

新京商工公會商工相談所

主する経験を有する者 下口雪 南龍に通じた一報秘密多上 第三六八七五

3 P

壽 0







電話 二甲基



E E S



· Kor









